

履歴書・業績調書の記載要領

共通事項

1. 用紙はA4版縦長、横書きとする。
2. 字体は、明朝体で、フォントサイズ10.5ポイントとする。
3. 年号は西暦を用いる。
4. 青字は例示であり、調書作成の際は削除する。
5. 適宜行追加して記載のこと。

応募書類表紙

1. 応募する職名を記載する（採用希望職名は、複数職名記載可。）。
2. 署名は直筆とし、押印すること。

履歴書

1. 年齢は、採用予定日現在で記載すること。
2. 学歴は、高等学校卒業以降全て記載すること。外国の学校名は英文表記等によい。
3. 学位・称号は全て記載すること。
(例) ○○学士(○○大学)、修士(○○学)(○○大学 ○○第○○○号)
博士(○○学)(○○大学 ○○第○○○号)
4. 職歴は一機関における在職状況を明確に記載し、以下のとおり統一する。
(例) ○○○○年○○月 ○○○○採用/入社/勤務
○○○○年○○月 同上 辞職/退職
5. 外部検定試験等を受験した場合、外部検定試験名とスコア等を記載するとともに、証明書の写しを添付すること。なお、日本語を母語としない者の場合には、日本語能力試験の取得級を記載し、証明書の写しも添付すること。
6. 写真は申請時3ヶ月以内のものを貼付すること。
7. 署名は直筆とし押印すること。

業績調書

1. I教育業績、II研究業績、III管理運営・社会活動の項目毎にページを改めること。
2. I教育業績について
記入例を参考にして「教育上の業績に関する事項」の4項目について時系列で記載すること。
 - ① 大学(高等教育)における教育指導の改善への積極的貢献
 - (ア) 作成した教科書・教材、高等教育における教育実践に関する調査・実践報告等
 - (イ) 高等教育実践に関する研修(ファカルティ・ディベロップメント活動への参

加大学の授業研究会への授業公開、大学教育実践に関する研究プロジェクトへの参加)等

- (ウ) その他正課外における高等教育実践(外国語ラウンジ、大学におけるクラブ活動指導、留学生指導を含む。)に関わる顕著な業績等
- ② 大学(高等教育)における教育指導の実績(センター所属の教員にあっては、当該 v センター業務を含む。)
 - (ア) 大学において授業を担当した年数
 - (イ) 担当授業科目名と受講者数
 - (ウ) 高大接続、入試への貢献
 - (エ) 卒業研究・修士論文を指導した学生数
 - (オ) その他
- ③ 大学(高等教育)における教育指導上の努力点
 - (ア) 特に行っている授業改善に関する取り組み
- ④ その他
 - (ア) 大学(高等教育)における教育経験を有しない者にあっては、詳細なシラバスや担当予定の授業科目の展開構想等
 - (イ) 大学(高等教育)以外における教育活動等

3. II 研究業績について

- ① 論文は、最新のものから順次発表年を遡ってすべてについて記載すること。著者が多数の場合は、主な著者を記載し以下は省略可能とする。ただし、省略する場合は外○人と人数を記載し、申請者本人が何人中何番目であるか明示すること。また、責任著者の場合はその旨明示すること。
- ② 主要論文3編以下においては、タイトル名にアンダーラインを引き、別刷(コピー可)及び③の論文概要を添付すること。
- ③ 論文概要は、主要論文3編について、概要を500字以内にまとめて記載すること。なお、著者が複数人の場合は、貢献の度合若しくは本人担当部分についての説明を行うこと。
- ④ 著書、口頭発表は最新のものから順次発表年を遡って記載すること。
- ⑤ 特許は、該当する事項について記載すること。
- ⑥ 学術賞は、学会の論文賞等学術で貢献したことに対する受賞について記載する。
- ⑦ 研究助成は、科学研究費補助金、産学連携研究等競争的資金などの取得状況、及び共同研究、受託研究について記載すること。また、本人が研究代表者であれば、本人申請者名にアンダーラインを引くこと。
- ⑧ 上記項目で該当のない事項については、“該当なし”と記載すること。
- ⑨ その他は、上記のいずれにも分類されていない研究活動で、自己PRの必要があると判断される事項について記載すること。

4. III管理運営・社会活動について

① 学内（所属組織内）における委員会活動等について記載すること。

（例）教育機関に所属している場合の記載事例

- ・ 学長から指名された役職等（副学長、学長補佐等（期間））
- ・ 入学試験業務への参画状況（個別試験出題委員、採点委員（年度））
- ・ 学部、学科内等の委員経歴（学科長、教務委員、FD委員、自己点検評価委員、学生生活委員、広報委員、ネットワーク委員、国際交流委員、施設整備検討委員（期間）など）

（例）企業等に所属している場合の記載事例

- ・ 企業等における職階で、教育機関における委員と同等と思われる諸活動について記載する。

② 学外（所属組織外）における委員会活動等は、国又は地方公共団体等の委員会活動等について記載すること。

③ 学会活動等は、所属学会における委員の経歴、国際大会、全国大会、支部大会等における座長等の経歴を記載すること。

④ その他は、上記のいずれにも分類されていない管理運営・社会活動で、自己PRの必要があると判断される事項について記載すること。